

ごめんなさい。

金印のことです。「きんじるし」ではありません。「きんいん」です。先週の金曜日、教室に銅鐸と銅鏡を持って行きました。それは担任が博物館で購入したレプリカです。しかし銅鏡の裏面は当時のように光らせてあるので顔がちゃんと写りました。

その日の学級通信を読みました。金印の記事です。そしてこうみんなに話しました。

「実は担任の友人が博多の博物館の勤務していて、今奈良に出張しています。そのときに内緒で金印を 1 時間だけ貸してくれるというのです。本物です。9 時半頃に来てくれるはずなのですが...。」

もうクラスは大パニックです。1 時間目の終わりくらいになるとみんななんとなくそわそわしているのがわかるのです。すると...

「森口先生、お客様です。」
と言う放送が流れました。
「来た！」

しばらくして黒い漆塗りの盆に小さな金印が置かれ、担任が白衣に白手袋そしてマスクをして教室に持っていきました。



教室は息をのんでその“国宝”の到着とお出ましを見守ります。

「これが金印です。とっても大切なものですから、むやみにさわったりしないでください。また、どうしてもさわるときには手袋をするようにして下さい。」そう言って白い手袋をつけて金印を見せると

「ほお～。」「ひかっている...」

との声。もう完全に金印にみとれています。

「よくかしてくれたなあ。」

.....

するとなんと担任は手を滑らせて金印を落としてしまいました。通信の束の上だったので事なきを得た(?)野ですがなんと今度は渋江さんの机の上に落っこしたのです。「コツン」「ウワーッ」悲鳴にも似た声が上がります。そのときのみんなの顔は少し青ざめた感じに見えました。

ごめんなさい。実はこれはレプリカです。大阪の弥生文化博物館(和泉市 ☎ 0725-46-2162)で購入しました。でも、少しの間古代のロマンに触れることができたのではないですか。

この弥生文化博物館、なかなかのおすすめスポットです。国道26号線沿いにあり、車で行くといいですね。

大阪の縄文から弥生そして古墳時代の出土物を中心に展示されています。大きな銅鐸のレプリカをたたくことができるのもここぐらいかもしれません。奈良では、橿原の考古学博物館が有名ですが、小学生にはこちらの方がわかりやすく、おもしろいと思いますよ。

島田陽子さん死去

元キャンディーズのルーちゃんこと田中好子さんが55才の若さでなくなったというニュースをビックリしながら読んだ金曜日（奇しくも金印ドッキリの日と同じ）の新聞の片隅に次のような訃報記事を見つけました。



作詞家の島田陽子さんが死去 大阪万博テーマ曲手掛ける

三波春夫さんらが歌った大阪万博の大阪万博のテーマソング「世界の国からこんにちは」などで知られる作詞家で、詩人の島田陽子さんが18日午後2時53分、膵臓がんのため大阪府豊中市の病院で死去した。81歳。東京都出身。自宅は大阪府豊中市北緑丘2の1の20の902。葬儀・告別式は近親者で済ませた。喪主は夫滋氏。後日、お別れ会が開かれる予定。

10代で大阪に転居。大阪弁に興味を持ち、数多くの言葉を詩作に取り入れた。

詩集に「大阪ことばあそびうた」「ゆれる花」「共犯者たち」など多数。エッセーに「金子みすゞへの旅」、童謡集に「ほんまにほんま」などがある。

2011/04/21 17:03 【共同通信】

そうです。朝の朗読でみんなが今読んでいる「あいうえおおさかくいだおれ」の詩の作者なのです。

でもこの記事に気がついた人がクラスにいたのがすごいですね。

4月集金は2000円

4月分の教材費の集金を5月2日に予定しています。詳しい内訳は後日連絡します。

朝のドリル

朝の学習の計算ドリルは今日をやっているはずですが、そこまですていない人は今度のノート提出日（金曜）までにやっておいてください。

春の遠足の行き先決定

5月20日（金）の春の遠足のいきさきが決定しました。6年生はバスを使って明日香村へ行く予定です。雨天でも決行します。天気が良ければ班毎のグループでオリエンテーリングのようなことを予定しています。事前に調べ、話し合いをもって見学場所とコースを決めます。雨の時は高松塚資料館と飛鳥資料館（ここで昼食も）と午後から昆虫館と考えています。

実はちょうどこのときに「国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開」があるのです。修理修復中のあの高松塚の「飛鳥美人」の修理の様子をみることができるのです。早速申請はしました。結果は4/27以降だそうです。当選したら見学できるのですよ。

